
第6次尾花沢市総合振興計画策定のための
青少年アンケート調査結果報告書

平成22年6月

尾花沢市

目次

I 調査の概要及び回答者の属性

1 調査の概要	1
（1）調査目的	1
（2）調査対象及び調査方法	1
（3）配布数及び回収結果	1
（4）本調査結果報告書の留意点	2
2 回答者の属性	2
（1）中高別	2
（2）性別	2
（3）居住地区	2

II 調査結果

1 まちへの愛着度と定住意向などについて	3
（1）まちへの愛着度について	3
（2）今後の定住意向について	5
（3）住み続けたい主な理由について	7
（4）住みたくない主な理由について	8
2 参加したい地域活動・ボランティア活動について	9
（1）参加したい地域活動・ボランティア活動について	9
3 今後のまちづくりの特色について	11
（1）今後のまちづくりの特色について	11
資料：調査票	13

I 調査の概要及び回答者の属性

1 調査の概要

(1) 調査目的

本調査は、「第6次尾花沢市総合振興計画」(計画期間：平成23年度～平成32年度)の策定にあたって、今後の定住意向、今後期待するまちづくりの方向など、青少年の意識構造の実態を把握するために実施した。

(2) 調査対象及び調査方法

項目	中学生	高校生等
調査対象	市内中学校に在籍する中学3年生	市内に在住する高校生など平成4年4月2日から平成5年4月1日に生まれた方
抽出法	全数調査	
調査方法	各学校を通じた配布・回収	郵送による配布・回収
調査時期	平成22年5月	
調査地域	市内全域。ただし、分析上は地域的傾向を把握するため、以下の5地区に区分した。 ①福原地区 ②宮沢地区 ③玉野地区 ④常盤地区 ⑤尾花沢地区	

(3) 配布数及び回収結果

項目	中学生	高校生等
配布数	173	190
有効回収数	167	62
有効回収率	96.5%	32.6%

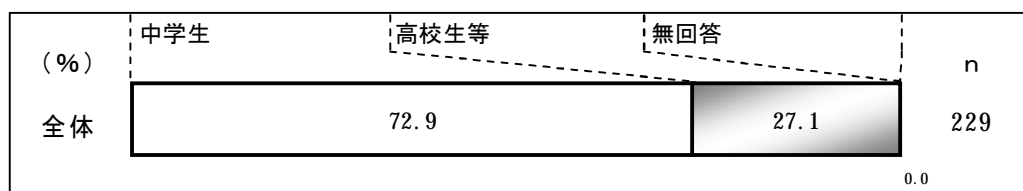
(4) 本調査結果報告書の留意点

本報告書を理解する上で、次の点に留意する必要がある。

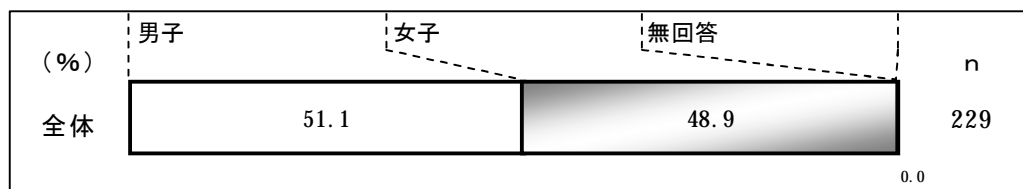
- 比率は百分率(%)で表し、小数点以下2位を四捨五入して算出している。従って、合計が100%を上下する場合もある。
- 基数となるべき実数は、“n=〇〇〇”として掲載し、各比率は回答数を100%として算出した。
- 質問の終わりに【複数回答】とある問は、1人の回答者が複数の回答を出してもよい問のため、各回答の合計比率は100%を超える場合がある。
- 文中、グラフ中の選択肢の文言は一部簡略化している。
- 問の中には「～に○をつけた方にうかがいます。」などいろいろな制限があり、また、属性別での居住地区別など回答者数が少なく、有意性の低いものも含まれる。

2 回答者の属性

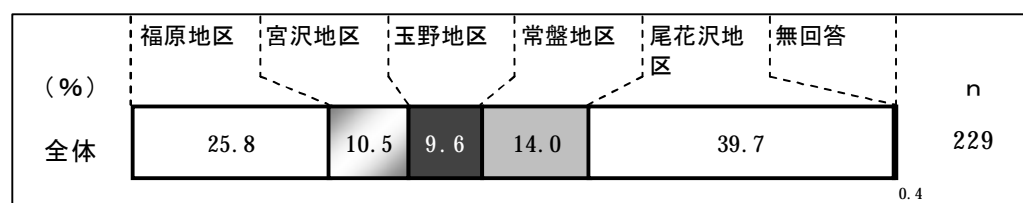
(1) 中高別



(2) 性別



(3) 居住地区



II 調査結果

1 まちへの愛着度と定住意向などについて

(1) まちへの愛着度について

問2 あなたは、尾花沢市に対してどの程度愛着を感じていますか。

- 愛着を“感じている”が87.8%。一方、“感じていない”は11.8%。

青少年の市に対する愛着をたずねたところ、「どちらかというと愛着を感じている」が52.0%と半数強を占め、次いで「とても愛着を感じている」(35.8%)が続く、これらをあわせた愛着を“感じている”という人が87.8%となっている。これに対して、愛着を“感じていない”(「あまり愛着を感じていない」10.9%及び「愛着を感じていない」0.9%の合計)は11.8%にとどまり、まちへの愛着度は高いといえる。

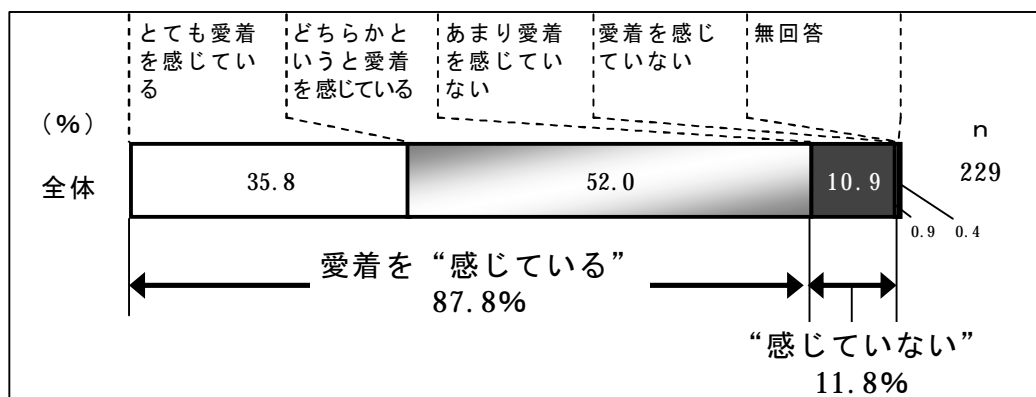
中高別で見ると、愛着を“感じている”率は、中学生では90.4%と約9割、高校生等では80.6%と約8割となっている。

性別で見ると、愛着を“感じている”率は、男子では90.6%と9割を超えるが、女子では84.9%となっており、男子の愛着度が比較的高い。

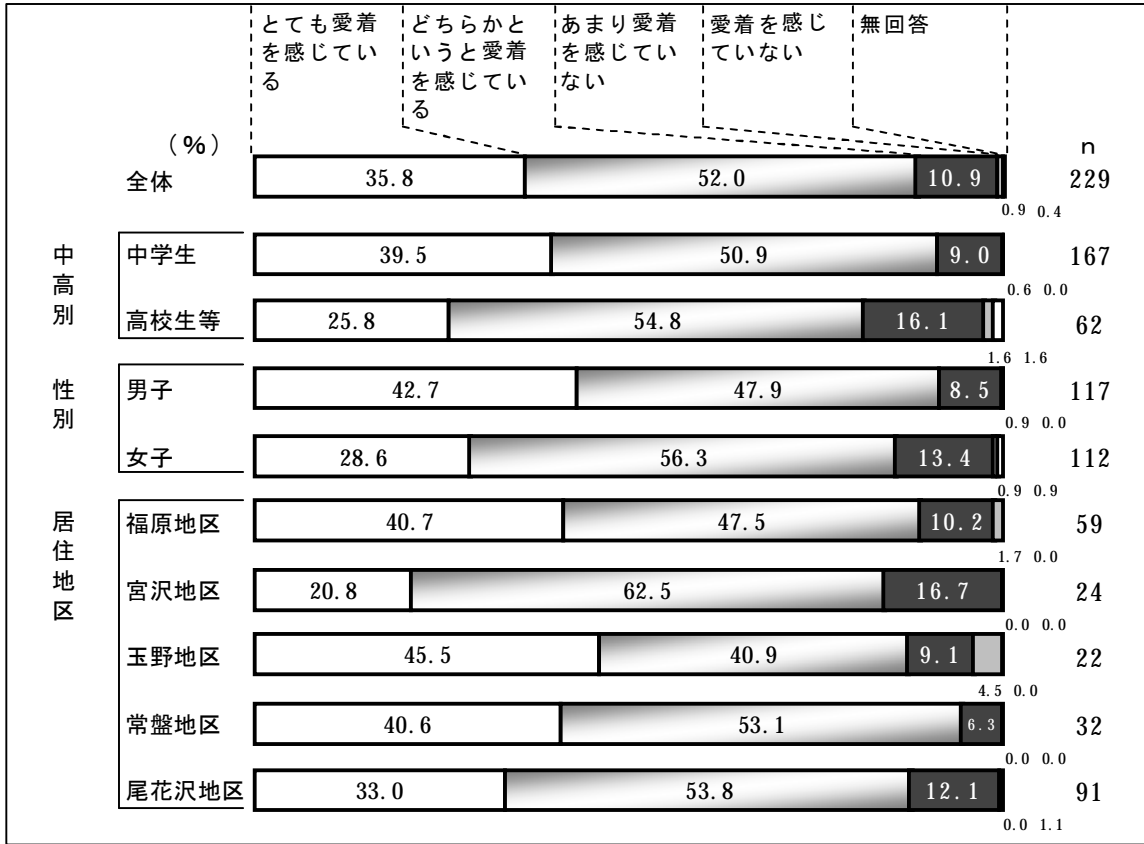
居住地区で見ると、愛着を“感じている”率は、常盤地区で93.7%と最も高く、次いで福原地区(88.2%)、尾花沢地区(86.8%)、玉野地区(86.4%)、宮沢地区(83.3%)となっており、すべての地区で8割を超える。

また、同様の設問を設定した一般市民アンケートの調査結果と比較すると、愛着を“感じている”率は、一般市民の78.9%に対して、青少年では87.8%と青少年が約9ポイント上回る。[図表1～3参照]

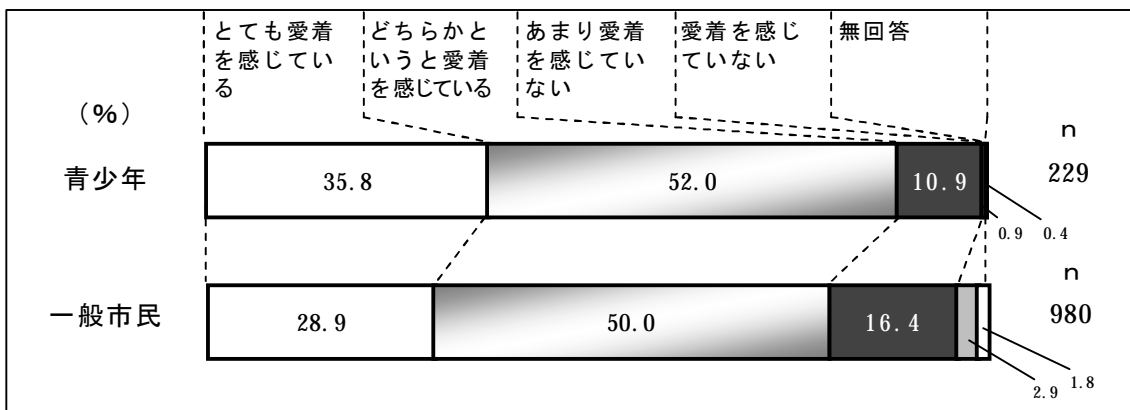
図表1 まちへの愛着度について (全体)



図表2 まちへの愛着度について（全体、中高別、性別、居住地区）



図表3 まちへの愛着度について（全体、一般市民との比較）



(2) 今後の定住意向について

問3 あなたは、これからも尾花沢市に住み続けたいと思いますか。(就職や進学で尾花沢市を離れたあと尾花沢市に戻ってきたいと思いますか。)

- “住み続けたい” が 59.8%。一方、“住みたくない” は 40.2%。

今後の定住意向をたずねたところ、「どちらかといえば住み続けたい」が 44.1%と4割強を占め、次いで「住み続けたい」(15.7%)が続き、これらをあわせた“住み続けたい”という人が 59.8%となっている。これに対して、“住みたくない”(「どちらかといえば住みたくない」32.3%及び「住みたくない」7.9%の合計)は 40.2%となっている。

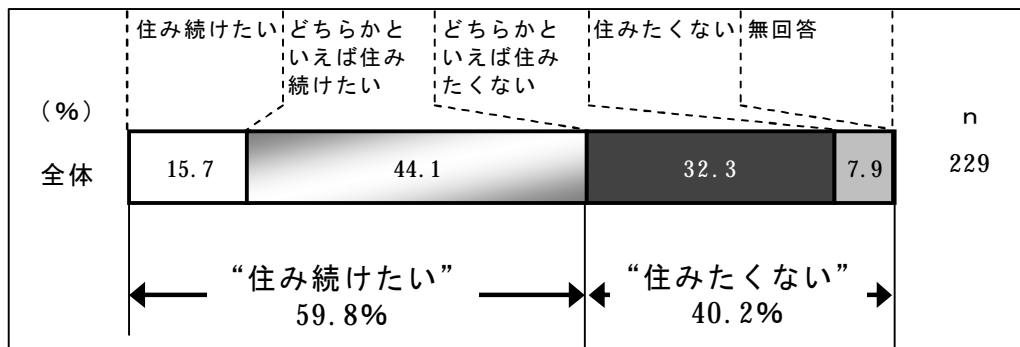
中高別で見ると、“住み続けたい”率は、中学生では 63.5%と6割を超える一方、高校生等では 50.0%と半数にとどまり、“住みたくない”(50.0%)と同率となっている。

性別で見ると、“住み続けたい”率は、男子では 67.5%と7割近い一方、女子では 51.8%にとどまり、男子の定住意向が強いことがうかがえる。

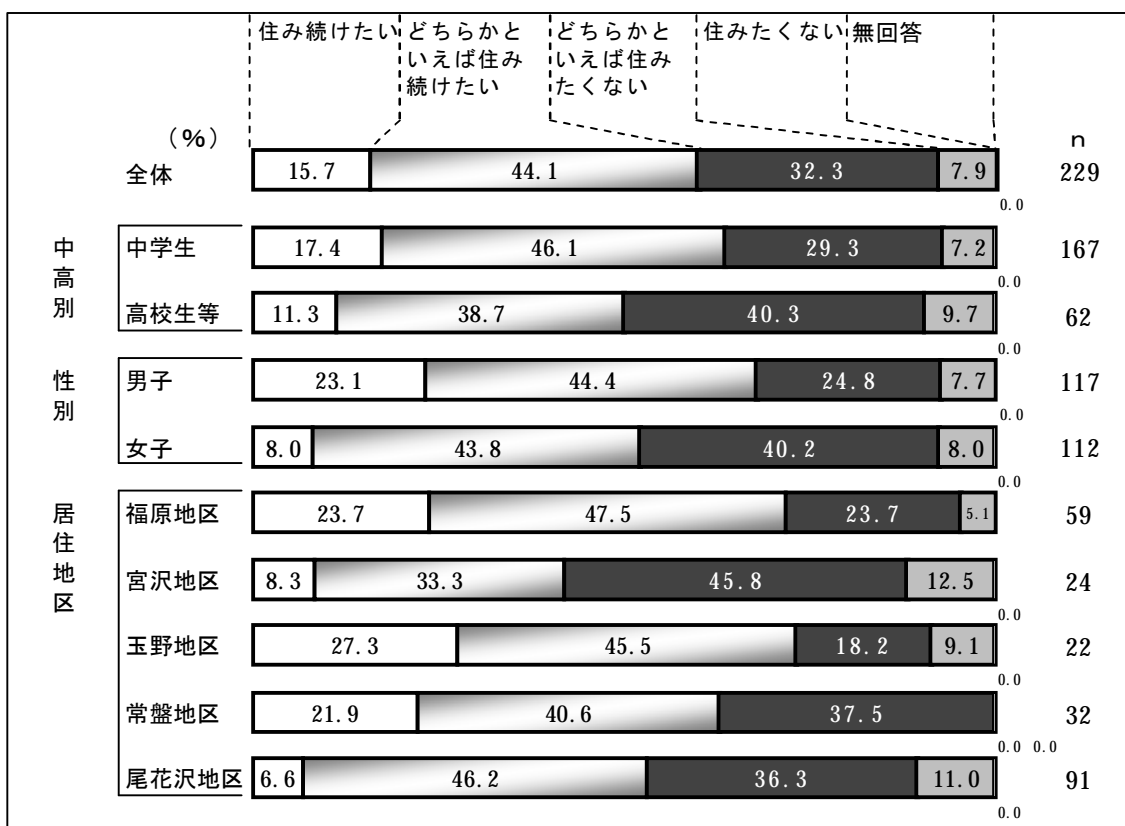
居住地区で見ると、“住み続けたい”率は、玉野地区で 72.8%と最も高く、次いで福原地区(71.2%)、常盤地区(62.5%)、尾花沢地区(52.8%)、宮沢地区(41.6%)となっており、地区によって定住意向に大きな差がみられる。

また、同様の設問を設定した一般市民アンケートの調査結果と比較すると、“住み続けたい”率は、一般市民の 71.0%に対して、青少年では 59.8%と青少年が約 11ポイント下回る。[図表4～6参照]

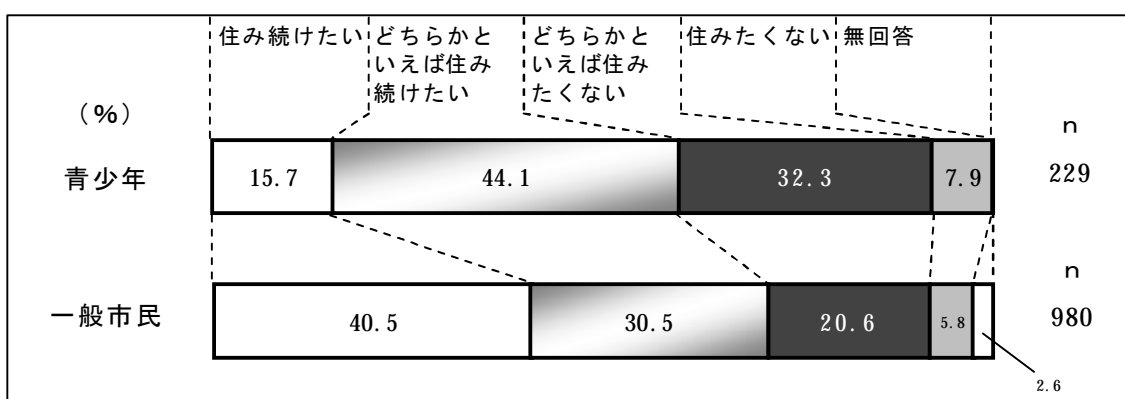
図表4 今後の定住意向について (全体)



図表5 今後の定住意向について（全体、中高別、性別、居住地区）



図表6 今後の定住意向について（全体、一般市民との比較）



(3) 住み続けたい主な理由について

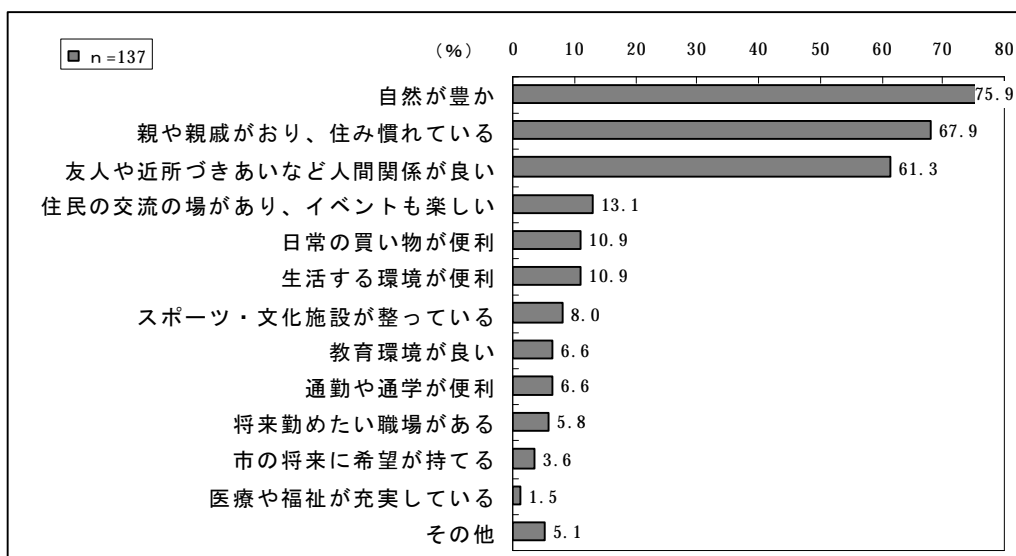
※問3で「1.」または「2.」に○をつけた方は①にお答えください。
 問3-① 住み続けたい主な理由は何ですか。【複数回答】

- 住み続けたい理由は「自然が豊か」が第1位。次いで「親や親戚がおり、住み慣れている」、「友人や近所づきあいなど人間関係が良い」の順。

住み続けたい理由については、「自然が豊か」(75.9%)が第1位に挙げられ、次いで「親や親戚がおり、住み慣れている」(67.9%)、「友人や近所づきあいなど人間関係が良い」(61.3%)が続き、これらが他を大きく引き離して住み続けた主な理由となっている。

中高別でみると、中学生では「自然が豊か」(77.4%)、高校生等では「親や親戚がおり、住み慣れている」(87.1%)が第1位となっている。[図表7～8参照]

図表7 住み続けたい主な理由について (全体/複数回答)



図表8 住み続けたい主な理由について (中高別/複数回答)

(上位3位、単位: %)

	第1位	第2位	第3位
中学生	自然が豊か 77.4	親や親戚がおり、住み慣れている 62.3	友人や近所づきあいなど人間関係が良い 61.3
高校生等	親や親戚がおり、住み慣れている 87.1	自然が豊か 71.0	友人や近所づきあいなど人間関係が良い 61.3

(4) 住みたくない主な理由について

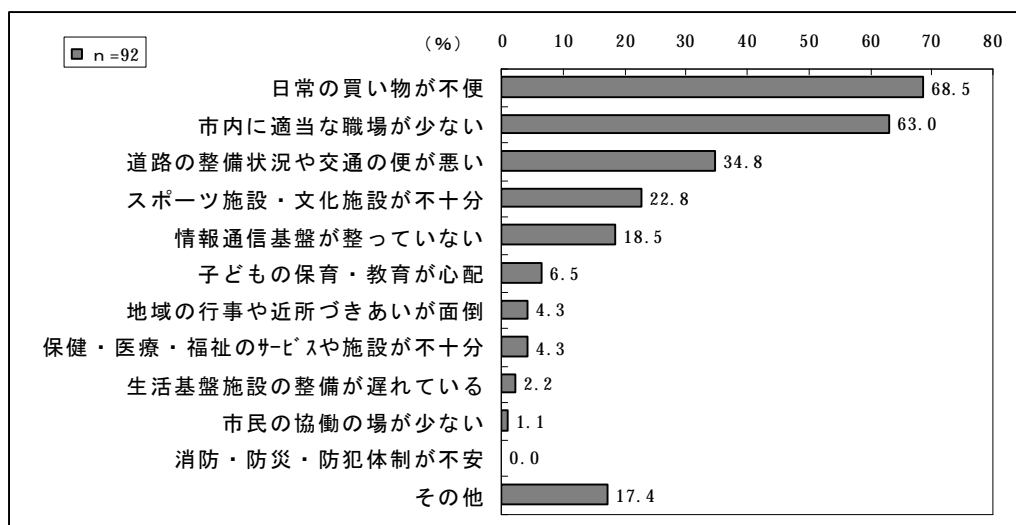
※問3で「3.」または「4.」に○をつけた方は②にお答えください。
問3-② 住みたくない主な理由は何ですか。【複数回答】

- 住みたくない主な理由は「日常の買い物が不便」が第1位。次いで「市内に適切な職場が少ない」が続く。

住みたくない理由については、「日常の買い物が不便」(68.5%)が第1位に挙げられ、次いで「市内に適切な職場が少ない」(63.0%)が続き、これらが他を大きく引き離して住みたくない理由の上位を占める。その他では「道路の整備状況や交通の便が悪い」(34.8%)、「スポーツ施設・文化施設が不十分」(22.8%)、「情報通信基盤が整っていない」(18.5%)などの順となっている。

中高別で見ると、中学生では「日常の買い物が不便」(70.5%)、高校生等では「市内に適切な職場が少ない」(74.2%)が第1位となっている。[図表9～10参照]

図表9 住みたくない主な理由について (全体/複数回答)



図表10 住みたくない主な理由について (中高別/複数回答)

(上位3位、単位: %)

	第1位	第2位	第3位
中学生	日常の買い物が不便 70.5	市内に適切な職場が少ない 57.4	道路の整備状況や交通の便が悪い 29.5
高校生等	市内に適切な職場が少ない 74.2	日常の買い物が不便 64.5	道路の整備状況や交通の便が悪い 45.2

2 参加したい地域活動・ボランティア活動について

(1) 参加したい地域活動・ボランティア活動について

問4 あなたは、次の活動（地域活動・ボランティア活動）の中で、今後、どのような活動に参加してみたいと思いますか。

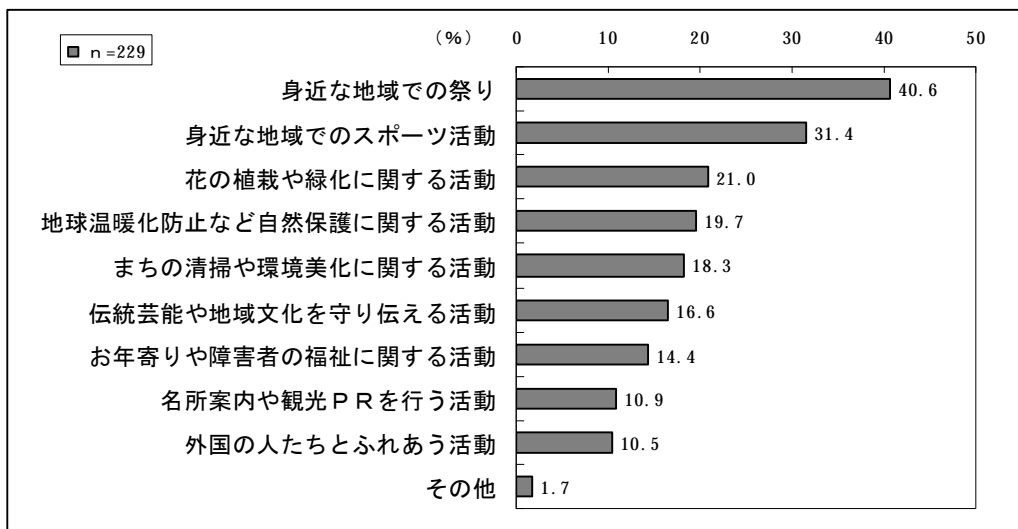
- 「身近な地域での祭り」が第1位。次いで「身近な地域でのスポーツ活動」、「花の植栽や緑化に関する活動」などの順。

参加したい地域活動・ボランティア活動については、「身近な地域での祭り」(40.6%)が第1位に挙げられ、次いで「身近な地域でのスポーツ活動」(31.4%)、「花の植栽や緑化に関する活動」(21.0%)、「地球温暖化防止など自然保護に関する活動」(19.7%)、「まちの清掃や環境美化に関する活動」(18.3%)などの順となっている。

中高別でみると、中学生では「身近な地域での祭り」(47.9%)、高校生等では「花の植栽や緑化に関する活動」(29.0%)が第1位となっている。

居住地区別でみると、ほとんどの地区で「身近な地域での祭り」が第1位となっているが、宮沢地区では「身近な地域でのスポーツ活動」(37.5%)が第1位となっている。[図表 11~12 参照]

図表 11 地域活動やボランティアへの参加意向について（全体／複数回答）



図表 12 地域活動やボランティアへの参加意向について（全体、中高別、性別、居住地区／複数回答）

（上位 3 位、単位：％）

		第 1 位	第 2 位	第 3 位
全体		身近な地域での祭り 40.6	身近な地域でのスポーツ活動 31.4	花の植栽や緑化に関する活動 21.0
中高別	中学生	身近な地域での祭り 47.9	身近な地域でのスポーツ活動 34.7	地球温暖化防止など自然保護に関する活動 20.4
	高校生等	花の植栽や緑化に関する活動 29.0	身近な地域でのスポーツ活動 22.6	伝統芸能や地域文化を守り伝える活動/身近な地域での祭り 21.0
居住地区	福原地区	身近な地域での祭り 37.3	身近な地域でのスポーツ活動 30.5	地球温暖化防止など自然保護に関する活動 25.4
	宮沢地区	身近な地域でのスポーツ活動 37.5	地球温暖化防止など自然保護に関する活動 29.2	伝統芸能や地域文化を守り伝える活動/身近な地域での祭り 25.0
	玉野地区	身近な地域での祭り/身近な地域でのスポーツ活動 50.0		外国の人たちとふれあう活動 27.3
	常盤地区	身近な地域での祭り 40.6	花の植栽や緑化に関する活動 37.5	伝統芸能や地域文化を守り伝える活動 28.1
	尾花沢地区	身近な地域での祭り 45.1	身近な地域でのスポーツ活動 29.7	まちの清掃や環境美化に関する活動 24.2

3 今後のまちづくりの特色について

(1) 今後のまちづくりの特色について

問5 あなたは、これからのまちづくりの中で、尾花沢市をどのような特色のあるまちにすべきだと考えますか。【複数回答】

- 「環境保全のまち」及び「快適住環境のまち」が上位を占める。

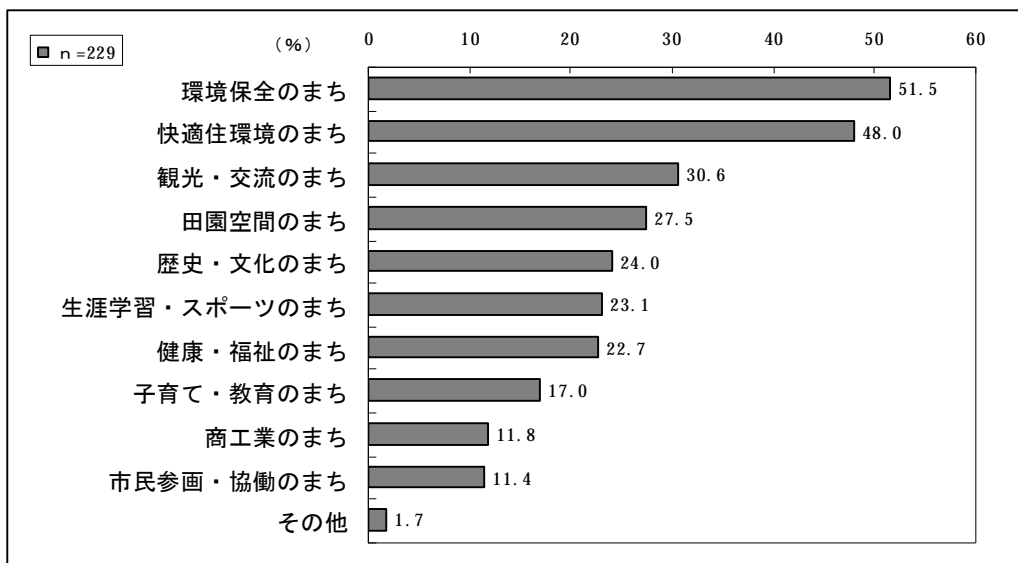
どのような特色のあるまちにすべきかについては、「環境保全のまち」(51.5%)及び「快適住環境のまち」(48.0%)が他を大きく引き離して上位を占め、次いで「観光・交流のまち」(30.6%)、「田園空間のまち」(27.5%)、「歴史・文化のまち」(24.0%)、「生涯学習・スポーツのまち」(23.1%)、「健康・福祉のまち」(22.7%)が続き、特に環境保全と住環境の充実への関心が高いことがうかがえる。

中高別で見ると、中学生では「環境保全のまち」(57.5%)、高校生等では「快適住環境のまち」(46.8%)が第1位となっている。

居住地区別で見ると、ほとんどの地区で「環境保全のまち」が第1位となっているが、尾花沢地区では「快適住環境のまち」(49.5%)が第1位となっている。

また、類似の設定問を設定した一般市民アンケートの調査結果と比較すると、一般市民では第6位となっている「環境保全のまち」が青少年では第1位に、一般市民では第7位の「観光・交流のまち」が第3位に挙げられるなど、一般市民と比較して環境、観光・交流への関心の高さがうかがえる。[図表13~15参照]

図表13 今後のまちづくりの特色について (全体/複数回答)



図表 14 今後のまちづくりの特色について（全体、中高別、居住地区／複数回答）

（上位 3 位、単位：％）

		第 1 位	第 2 位	第 3 位
全体		環境保全のまち 51.5	快適住環境のまち 48.0	観光・交流のまち 30.6
中高別	中学生	環境保全のまち 57.5	快適住環境のまち 48.5	観光・交流のまち 33.5
	高校生等	快適住環境のまち 46.8	環境保全のまち 35.5	田園空間のまち 33.9
居住地区	福原地区	環境保全のまち 45.8	快適住環境のまち 44.1	田園空間のまち 33.9
	宮沢地区	環境保全のまち 66.7	快適住環境のまち 45.8	田園空間のまち 37.5
	玉野地区	環境保全のまち 68.2	快適住環境のまち 59.1	観光・交流のまち 40.9
	常盤地区	環境保全のまち 56.3	快適住環境のまち 43.8	田園空間のまち 43.8
	尾花沢地区	快適住環境のまち 49.5	環境保全のまち 46.2	観光・交流のまち 31.9

図表 15 今後のまちづくりの特色について（全体、一般市民との比較／複数回答）

（上位 3 位、単位：％）

		第 1 位	第 2 位	第 3 位
青少年		環境保全のまち 51.5	快適住環境のまち 48.0	観光・交流のまち 30.6
一般市民		健康・福祉のまち 40.0	安全環境のまち 24.1	子育て・教育のまち 21.4

資料：調 查 票

尾花沢市の新しいまちづくりのための アンケート調査ご協力をお願い

みなさんこんにちは。

尾花沢市では、新しいまちづくりに向けて、第6次尾花沢市総合振興計画（10年後の平成32年度を目標に、尾花沢市をどのようなまちにするのか、そのためにどのような事業を行えば良いのかを定めた計画）をつくることになりました。

この調査は、新しい計画をつくるにあたって、尾花沢市の未来を担う青少年のみなさんのご意見をお聞きし、参考にするために行うものです。

これからの尾花沢市のまちづくりを、みなさんと一緒に考えていきますので、率直なご意見をお聞かせください。

平成22年4月

尾花沢市長 小野紀男

—— お答えにあたってのお願い ——

1. お答えは、問ごとに（1つに○印）、（2つまで○印）などそれぞれ決められていますので、間違えないようにしてください。
○印は、番号を囲むように濃くつけてください。（例 ①.）
2. お答えいただいたアンケート票は、5月14日（金）まで担任の先生に提出してください。
3. この調査についてのお問い合わせは、次のところをお願いします。

尾花沢市企画課企画係（担当：小埜・土屋）

電話：0237-22-1111内線（222）

FAX：0237-23-3004

E-mail：kikaku@city.obanazawa.yamagata.jp

はじめに、あなたご自身のことについておたずねします。

問1 あなたご自身のことについて、それぞれの項目ごとにあてはまる番号を選んで1つに○印をつけてください。

(1) あなたの性別	1. 男 2. 女
(2) あなたの居住地	1. 福原地区 2. 宮沢地区 3. 玉野地区 4. 常盤地区 5. 尾花沢地区

愛着度と定住意向などについておたずねします。

問2 あなたは、尾花沢市に対してどの程度愛着を感じていますか。(1つに○印)

1. とても愛着を感じている
2. どちらかという愛着を感じている
3. あまり愛着を感じていない
4. 愛着を感じていない

問3 あなたは、これからも尾花沢市に住み続けたいと思いますか。(就職や進学で尾花沢市を離れたあと尾花沢市に戻ってきたいと思いますか。)(1つに○印)

1. 住み続けたい

2. どちらかといえば住み続けたい

3. どちらかといえば住みたくない

4. 住みたくない(引っ越したい)

※問3で「1.」または「2.」に○をつけた方は①にお答えください。

※問3で「3.」または「4.」に○をつけた方は②にお答えください。

次のページへお進みください。

①住み続けたい主な理由は何ですか。
(3つまで○印)

1. 自然が豊かだから
2. 教育環境が良いから
3. 通勤や通学が便利だから
4. 医療や福祉が充実しているから
5. 日常の買い物が便利だから
6. 生活する環境が便利だから
7. スポーツ施設や文化施設が整っているから
8. 将来勤めたい職場があるから
9. 住民の交流する場がありイベントも楽しいから
10. 親や親戚がいる住み慣れた土地だから
11. 友人や近所づきあいなど人間関係が良いから
12. 市の将来に希望がもてるから
13. その他
(具体的に：)

②住みたくない主な理由は何ですか。
(3つまで○印)

1. 日常の買い物が不便だから
2. 道路の整備状況や交通の便が悪いから
3. 地域の行事や近所づきあいが面倒だから
4. (将来の) 子どもの保育・教育のことが心配だから
5. 市内に適当な職場が少ないから
6. 保健・医療・福祉分野のサービスや施設が不十分だから
7. 消防・防災・防犯体制に不安を感じるから
8. スポーツ施設や文化施設が不十分だから
9. 生活基盤施設(ごみ処理・水道・下水道など)の整備が遅れているから
10. 地域課題に取り組む活動など市民の協働(共に考え共に働く)の場が少ないから
11. 情報通信基盤(インターネット・携帯電話・地デジ放送など)が整っていないから
12. その他
(具体的に：)

地域活動やボランティアについておたずねします。

問4 あなたは、次の活動(地域活動・ボランティア活動)の中で、今後、どのような活動に参加してみたいと思いますか。(2つまで○印)

1. 地球温暖化防止など自然保護に関する活動
2. 花の植栽や緑化に関する活動
3. まちの清掃や環境美化に関する活動
4. お年寄りや障害者の手助けなど福祉に関する活動
5. 伝統芸能や地域文化を守り伝える活動
6. 名所案内や観光PRを行なう活動
7. 身近な地域での祭り
8. 身近な地域でのスポーツ活動
9. 外国の人たちとふれあう活動
10. その他(具体的に：)

今後のまちづくりについておたずねします。

問5 あなたは、これからのまちづくりの中で、尾花沢市をどのような特色のあるまちにすべきだと考えますか。（3つまで○印）

1. 自然や環境にやさしいまち・・・『環境保全のまち』
2. 快適で安全・安心に暮らせるまち・・・『快適住環境のまち』
3. 健康づくりや福祉が充実したまち・・・『健康・福祉のまち』
4. 子どもの保育や教育環境が充実したまち・・・『子育て・教育のまち』
5. 生涯学習（生涯を通してさまざまなことを学ぶこと）やスポーツ活動がさかんなまち・・・『生涯学習・スポーツのまち』
6. 歴史や地域の文化を大切にするまち・・・『歴史・文化のまち』
7. 農林業や田畑を大切にするまち・・・『田園空間のまち』
8. 商業や工業がさかんなまち・・・『商工業のまち』
9. 観光をさかんにし、いろいろな交流をすすめるまち・・・『観光・交流のまち』
10. まちづくりにみんなが知恵をだしあい協力するまち・・・『市民参画・協働のまち』
11. その他（具体的に： _____）

尾花沢市の魅力についておたずねします。

問6 尾花沢市であなたが、特に自慢できるものは何ですか。自然・歴史・文化・景観・産業なんでもかまいません。具体的に下の枠内に2つまで書いてください。

尾花沢市の魅力 その1	尾花沢市の魅力 その2

尾花沢市のキャッチフレーズについてご記入ください。

問7 10年後の尾花沢市がこうあるべきと思う姿を、簡単な標語やキャッチフレーズで表現するとしたら、どのようなものが考えられますか。お考えがありましたら、ご自由にご記入ください。

＜キャッチフレーズ＞

ご協力ありがとうございました。

尾花沢市の新しいまちづくりのための アンケート調査ご協力をお願い

みなさんこんにちは。

尾花沢市では、新しいまちづくりに向けて、第6次尾花沢市総合振興計画（10年後の平成32年度を目標に、尾花沢市をどのようなまちにするのか、そのためにどのような事業を行えば良いのかを定めた計画）をつくることになりました。

この調査は、新しい計画をつくるにあたって、尾花沢市の未来を担う青少年のみなさんのご意見をお聞きし、参考にするために行うものです。

これからの尾花沢市のまちづくりを、みなさんと一緒に考えていきますので、率直なご意見をお聞かせください。

平成22年4月

尾花沢市長 小野紀男

—— お答えにあたってのお願い ——

1. お答えは、問ごとに（1つに○印）、（2つまで○印）などそれぞれ決められていますので、間違えないようにしてください。
○印は、番号を囲むように濃くつけてください。（例 ①.）
2. お答えいただいたアンケート票は、5月15日（土）までに同封の返信用封筒に入れてポストに投函してください。（切手を貼る必要はありません。）
3. この調査についてのお問い合わせは、次のところをお願いします。

尾花沢市企画課企画係（担当：小埜・土屋）

電話：0237-22-1111内線（222）

FAX：0237-23-3004

E-mail：kikaku@city.obanazawa.yamagata.jp

はじめに、あなたご自身のことについておたずねします。

問1 あなたご自身のことについて、それぞれの項目ごとにあてはまる番号を選んで1つに○印をつけてください。

(1) あなたの性別	1. 男 2. 女
(2) あなたの居住地	1. 福原地区 2. 宮沢地区 3. 玉野地区 4. 常盤地区 5. 尾花沢地区

愛着度と定住意向などについておたずねします。

問2 あなたは、尾花沢市に対してどの程度愛着を感じていますか。(1つに○印)

1. とても愛着を感じている
2. どちらかという愛着を感じている
3. あまり愛着を感じていない
4. 愛着を感じていない

問3 あなたは、これからも尾花沢市に住み続けたいと思いますか。(就職や進学で尾花沢市を離れたあと尾花沢市に戻ってきたいと思いますか。)(1つに○印)

1. 住み続けたい
2. どちらかといえば住み続けたい

3. どちらかといえば住みたくない
4. 住みたくない(引っ越したい)

※問3で「1.」または「2.」に○をつけた方は①にお答えください。

※問3で「3.」または「4.」に○をつけた方は②にお答えください。

次のページへお進みください。

①住み続けたい主な理由は何ですか。
(3つまで○印)

1. 自然が豊かだから
2. 教育環境が良いから
3. 通勤や通学が便利だから
4. 医療や福祉が充実しているから
5. 日常の買い物が便利だから
6. 生活する環境が便利だから
7. スポーツ施設や文化施設が整っているから
8. 将来勤めたい職場があるから
9. 住民の交流する場がありイベントも楽しいから
10. 親や親戚がいる住み慣れた土地だから
11. 友人や近所づきあいなど人間関係が良いから
12. 市の将来に希望がもてるから
13. その他
(具体的に：)

②住みたくない主な理由は何ですか。
(3つまで○印)

1. 日常の買い物が不便だから
2. 道路の整備状況や交通の便が悪いから
3. 地域の行事や近所づきあいが面倒だから
4. (将来の) 子どもの保育・教育のことが心配だから
5. 市内に適当な職場が少ないから
6. 保健・医療・福祉分野のサービスや施設が不十分だから
7. 消防・防災・防犯体制に不安を感じるから
8. スポーツ施設や文化施設が不十分だから
9. 生活基盤施設(ごみ処理・水道・下水道など)の整備が遅れているから
10. 地域課題に取り組む活動など市民の協働(共に考え共に働く)の場が少ないから
11. 情報通信基盤(インターネット・携帯電話・地デジ放送など)が整っていないから
12. その他
(具体的に：)

地域活動やボランティアについておたずねします。

問4 あなたは、次の活動(地域活動・ボランティア活動)の中で、今後、どの活動に参加してみたいと思いますか。(2つまで○印)

1. 地球温暖化防止など自然保護に関する活動
2. 花の植栽や緑化に関する活動
3. まちの清掃や環境美化に関する活動
4. お年寄りや障害者の手助けなど福祉に関する活動
5. 伝統芸能や地域文化を守り伝える活動
6. 名所案内や観光PRを行なう活動
7. 身近な地域での祭り
8. 身近な地域でのスポーツ活動
9. 外国の人たちとふれあう活動
10. その他(具体的に：)

今後のまちづくりについておたずねします。

問5 あなたは、これからのまちづくりの中で、尾花沢市をどのような特色のあるまちにすべきだと考えますか。（3つまで○印）

1. 自然や環境にやさしいまち・・・『環境保全のまち』
2. 快適で安全・安心に暮らせるまち・・・『快適住環境のまち』
3. 健康づくりや福祉が充実したまち・・・『健康・福祉のまち』
4. 子どもの保育や教育環境が充実したまち・・・『子育て・教育のまち』
5. 生涯学習（生涯を通してさまざまなことを学ぶこと）やスポーツ活動がさかんなまち・・・『生涯学習・スポーツのまち』
6. 歴史や地域の文化を大切にするまち・・・『歴史・文化のまち』
7. 農林業や田畑を大切にするまち・・・『田園空間のまち』
8. 商業や工業がさかんなまち・・・『商工業のまち』
9. 観光をさかんにし、いろいろな交流をすすめるまち・・・『観光・交流のまち』
10. まちづくりにみんなが知恵をだしあい協力するまち・・・『市民参画・協働のまち』
11. その他（具体的に： _____）

尾花沢市の魅力についておたずねします。

問6 尾花沢市であなたが、特に自慢できるものは何ですか。自然・歴史・文化・景観・産業なんでもかまいません。具体的に下の枠内に2つまで書いてください。

尾花沢市の魅力 その1	尾花沢市の魅力 その2

尾花沢市のキャッチフレーズについてご記入ください。

問7 10年後の尾花沢市がこうあるべきと思う姿を、簡単な標語やキャッチフレーズで表現するとしたら、どのようなものが考えられますか。お考えがありましたら、ご自由にご記入ください。

＜キャッチフレーズ＞

ご協力ありがとうございました。

お手数ですが、同封の封筒に入れご投函ください。（切手は不要です。）